



ちょっと早いよう
ですが…。

よい年をお迎えください！

早いもので、2021年も終わりを迎えようとしています。今年は、新型コロナと「TOKYO2020」の影響で、休校やオンライン授業、夜遅くまでのテレビ視聴など、子どもたちにとっては、生活リズムや学校のリズムを維持するのが難しい年でした。そのような中でも、充実した教育活動ができましたのも、保護者の皆様のご協力のお陰です。心より感謝申し上げます。

少し早いようで恐縮ですが、新しい年が皆様にとってよい年でありますようにお祈りし、令和3年最後のお便りとさせていただきます。ありがとうございました。

学習発表会のふり返りメッセージ！

各学年の発表への感想をメッセージとして書き、交流しました。その中から、いくつかご紹介します。



1年生へ
こまった人の気持ちによりそって、言われてほかほかすることを書いて、すごいね。(3年生より)

2年生へ
自分のお母さん、お父さんの仕事でがんばっていることに感謝して、「ありがとう」「大好き」など、素直に言えているところが、私にはできてないと思いました。私は、これから素直に、感謝して生きていこうと思いました。(6年生より)

3年生へ
私は、3年生の時に荒尾梨について学習したけど、万田坑などで働く人が地元へ送ったと知ることができて、よかったです。(4年生より)

4年生へ
「あらおひがた」にマジックがいることが分かりました。行ってみたいです。(2年生より)

5年生へ
水またびょうについて、ぼくは、川を大切にしたいと思いました。さすがは5年生と思ったのは、すべてをちゃんと発表していたからです。(2年生より)

6年生へ
さすが6年生は、こえもおおきく、くわしくおしえてくれる。(1年生より)

6年生へ
私は、爆弾を落としただけで7万人以上の人たちが亡くなっていると知って、戦争は絶対にしてはいけないんだと思いました。これから戦争が起きない平和な世界にしていきたいです(4年生より)

2月の主な行事予定

- 4日(金) 新入学児童体験入学
- 10日(木) クラブ活動
- 19日(土) 土曜授業
(授業参観・学級懇談会)
- 24日(木) 学校支援協議会
- 25日(金) なわとび大会

3月の主な行事予定

- 3日(木) 委員会集会
新しいメンバーでの委員会
- 7日(月) 地域児童会
- 10日(木) クラブ活動
- 11日(金) 6年生を送る会
- 23日(水) 6年生修了式
- 24日(木) 卒業式
- 25日(金) 修了式
- 30日(水) 退任式

裏面にPTA研修の感想と質問、それに対する答えを一部ですが掲載しています。是非ご覧ください！

学校ではアンケートや教育相談(個別面談)、日頃の会話や観察などから、子供たちの不安や悩みを小さいうちにみつけ、早いうちに解消したいと思い、取り組んでいます。また、スクールカウンセラーやソーシャルワーカーなどの専門家とも連携しています。お子様の発達、いじめや体罰など、ご心配な点は、遠慮なく学校にご相談ください。(電話66-0854 教頭)



PTA研修特集



12月18日(土)のPTA研修は、スクールカウンセラーの三津家律子先生をお招きし、「人権講話『自分もお友達も大切にできる子に』」という演題で、講話をしていただきました。当日の感想やお尋ね、それに対する講師の先生のお返事などをお知らせしたいと思います。参加できなかった方も、資料を配付していますので、ご覧ください。また、お尋ねやご相談があれば、お知らせください。

子どもに対してつついきつく言ってしまっていたが、スキンシップや子どもに考えさせる声かけで変われることが分かり、実行してみようと思った。

まず、自分が変わらねばならないことに気づくことができました。宿題の事例が参考になりました。言葉のかけ方、言い方の大事さを改めて感じました。

子どもが学校であったことなどを話してくれるのですが、どう返してあげたらいいか悩むことがよくありました。子どもの気持ちをまず受け止めることは気がかけていましたが、Why?ではなく、How?で返してあげたいと思いました。

子どもと毎日たくさん話しています。1日の出来事など。ハグも毎日やっているの、これからは続けていきます。

早速、家で肯定的な言葉を使うことを心がけようと思いました。



質問

「子どもの話にどう返してあげればいいでしょうか？」

答え

まずは、くり返すことです。「今日、〇〇があった」には、「そう、〇〇があったのね」でいいと思います。そうすると、子どもは、「自分の話をしっかり聞いてもらっている」と思うことができます。「□□があって、イヤだった」にも、「そう、□□のことが、イヤだったんだね」と受け止めてください。解決すべきことがあれば、「どうしたいと思う」「どうしたら、うまくいくと思う？」と尋ねるといいですね。

質問

「どうやったら、子どもが思いやりのある子になりますか？」

答え

モデルを示すことが一番ですね。例えば、お父さんとお母さんが、お互いに思いやりのある言葉や態度で接していたら、子どもは、それを身近で学ぶことになります。

質問

「言葉が荒い子どもたちに、どう接すればいいですか？」

答え

「I (アイ・私) メッセージ」で返してください。「あなた」が主語になると「あなたは、なんでそんな言い方をするの!」と攻める言い方になります。私(I)を主語にすると、「お母さん、悲しいなあ」「私、あなたにそんな言葉を言われると、傷つくなあ」と、いう返し方です。

質問

「子どもがストレスをためないためには、どうすればいいですか？」

答え

話を具体的に聞いてあげてください(5W1H)。それから、どんな気持ちか尋ねてください。その感情を聞いて、共感することから始めましょう。「悲しかったんだね」「イヤだったんだね」と、その感情を言葉に出して伝えてください。また、体を一緒に動かすことも効果的です。キャッチボールなどは、いいですね。

発達障がいについてのお尋ねもありました。ぜひ学校にご連絡ください。お話ししましょう!